

令和5年度当初予算 観光戦略推進部主要施策の概要

(令和4年度第1次3月補正予算含む)

◎予算編成のポイント










- ・ 北陸新幹線県内全線開業の効果を最大化するため、今年度中に策定予定の「新幹線県内全線開業PR戦略実行プラン」に基づき、受け地の魅力づくりと効果的な情報発信、誘客キャンペーンに取り組む。特に、本県の強みである多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進や北陸三県の連携強化に取り組む。
- ・ インバウンド再始動に向けた積極的な海外誘客プロモーションを推進する。
- ・ 外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりに向けた取り組みの充実を図る。

◎重点主要施策の概要

- 文化観光を推進するため、「いしかわ文化観光推進ファンド」を創設し、文化の担い手と観光事業者が連携した取り組みに対して、複数年度にわたり一貫して伴走型の支援を行い、高付加価値な文化観光コンテンツを県内各地で創出する。
- 北陸三県が連携し、令和6年秋の北陸デスティネーションキャンペーンに向けて、北陸の観光素材を全国の旅行会社に商品化を働きかける「全国宣伝販売促進会議」を開催するとともに、将来の大阪開業も見据え、関西圏での情報発信拠点を整備する。
- 海外誘客については、小松・台北便のデイリー運航が再開されることを踏まえ、台湾からの誘客拡大を図るとともに、高付加価値旅行者の誘客強化に取り組む。
- 県内全域から参加可能なオンライン日本語教室を新たに実施するとともに、市町が行う多文化交流事業に対して支援を行う。

令和5年度当初予算 観光戦略推進部主要施策の概要
(令和4年度第1次3月補正予算含む)

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化		
(1) 多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進		
・  いしかわ文化観光推進ファンドの創設 (総額100億円)	5,000,000	県貸付金
・  いしかわ文化観光推進ファンド(100億円) による支援	70,000	文化観光素材の発掘から磨き上げ、販売促進までの伴走型の一貫支援
・  文化観光推進人材の育成・連携促進	2,500	いしかわ観光創造塾における文化観光推進人材の育成
・  いしかわ文化観光スペシャルガイドの創設	1,000	本県の文化の価値を分かりやすく伝える専門ガイドの登録とスキルの向上
・能登・加賀・金沢の魅力を活かした誘客イベントの開催	100,000	能登での祭りや食、イベントをテーマとしたスタンプラリー等の実施、 加賀での歴史や工芸をテーマとしたスタンプラリー等の実施、 金沢での歴史的建造物と音楽をテーマとしたイベントの開催など
・金沢城公園・兼六園の夜の魅力充実	17,600	「金沢城・兼六園四季物語」の開催
(2) 北陸三県連携による誘客の促進		
・北陸三県連携による全国からの誘客強化	54,000	大手旅行会社との連携による全国的な誘客キャンペーンの実施、 首都圏等のメディアに向けた観光PRの実施、  北陸DC(R6年秋)に向けた全国宣伝販売促進会議の開催など
・  北陸三県連携による関西圏での情報発信拠点の整備(3月1次補正)	47,000	大阪駅隣接大型複合施設「梅田3丁目計画(仮称)」 (R6年春竣工予定)での拠点整備に係る設計・工事
・  北陸三県連携による台湾からの誘客強化に向けた観光情報の発信	3,000	現地旅行博への出展、現地メディアの招へい
(3) 北陸新幹線県内全線開業の効果を活かした誘客キャンペーンの実施		
・北陸三県連携による全国からの誘客強化(再掲)	54,000	
・  北陸新幹線の県内新駅を核とする周遊観光の促進	5,000	電動アシスト自転車を活用した周遊コースの造成など
・  北陸新幹線沿線自治体等と連携した広域観光ガイドブックの発行	4,500	5県(石川、富山、福井、岐阜、長野)連携による広域観光ガイドブックの発行(R6年3月)

事業名	金額(千円)	説明
・「いしかわ観光コンシェルジュ」を活用した誘客の推進	5,000	北陸新幹線敦賀延伸により身近となる中国地方へ配置
・本県ゆかりの企業や映画等との連携によるPR	38,500	本県ゆかりのアニメ関連企業等と連携したイベントの開催、本県が舞台となった映画のロケ地PRによる誘客促進など
(4) ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進		
・コロナ禍によるニーズの変化に対応した新たな観光スタイルの開発促進	18,000	スポーツ・アウトドア・産業観光などの観光コンテンツ開発への支援
・修学旅行誘致の推進	12,500	学校・旅行会社に対する誘致活動、加賀・能登地域での学生によるガイドプログラムの造成に対する支援
・コンベンション誘致の推進	40,000	県内でのコンベンション開催に対する助成
・白山白川郷ホワイトロードの利用促進	18,000	温泉旅館等の宿泊者を対象とした片道無料化
(5) インバウンド再始動に向けた積極的な海外誘客の推進		
・アジアからの誘客強化(一部再掲)	37,800	小松・台北便の利用促進に向けた知事トップセールスの実施、北陸三県連携による台湾からの誘客強化に向けた観光情報の発信、現地旅行博への出展、現地旅行会社の招へいなど
・欧米豪からの誘客強化	30,700	観光レップを活用した現地旅行会社への旅行商品造成の働きかけ、報奨旅行誘致に向けたモニターツアーの実施など
(6) インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客強化		
・外国人旅行者のニーズに対応した旅行商品の造成	10,000	専門家による観光素材の磨き上げ、ガイドの育成など
・高付加価値旅行者の誘客	39,000	米国観光レップによる現地メディアへの働きかけ、旅行会社の招へいなど
(7) 基幹産業としての石川の観光を担う人材の育成		
・文化観光推進人材の育成・連携促進(再掲)	2,500	
(8) データを活用した効果的な観光施策の推進		
・デジタルマーケティングを活用した観光情報発信の強化	115,100	スマホの位置情報やSNSの情報等のビッグデータを活用した誘客プロモーション、県観光HP「ほっと石川旅ねっと」の充実

事業名	金額(千円)	説明
2 個性豊かな地域づくり ・開園50周年と北陸新幹線県内全線開業を見据えた森林公園の魅力アップ	債務を含め 712,300	バーベキュー場・フィールドアスレチックなどの改修(R5年5月オープン)、 開園50周年記念式典の開催(MISIA氏を名誉園長に委嘱)、 屋内木育施設の整備(R6年夏休み前オープン)など
・開のとじま水族館の魅力アップに向けた検討	10,000	有識者による検討会での中長期的な整備構想の策定
3 世界に開かれた国際交流の推進		
・「石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム」の本格的な再開	36,500	開ホームステイボランティアの拡大に向けた小中学生親子との交流会の開催など
・県民参加による幅広い国際交流の推進	7,130	友好交流地域や海外県人会との青少年相互派遣など
4 外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進		
・開外国人住民の支援体制の強化	12,000	オンライン日本語教室の実施、 市町の多文化交流事業への支援、 外国人住民の生活実態やニーズ調査の実施
5 観光交流施設の運営管理		
・いしかわ動物園の運営管理	245,855	楽しく遊べ、学べる動物園の運営管理
・ふれあい昆虫館の運営管理	111,109	昆虫とのふれあい体験施設の運営管理
・保健休養林施設の運営管理	151,440	森林公園、健康の森、県民の森の運営管理